

国土交通省による対策内容 (木曾川上流河川事務所)

- 対策メニュー： 加茂川排水機場のポンプ増強
- 実施状況： 平成27年度はポンプ製作、上屋工事、周辺護岸工事を実施
- 課題等： -

No.	施策名称	事業主体
3.6.3 5)	加茂川排水機場のポンプ増強	国土交通省

(対策の具体目標)

(1)目標

加茂川排水機場のポンプを増設することにより、加茂川から木曾川本川への排水能力を高め、浸水被害の軽減を図る。

(2)内容

加茂川排水機場のポンプ増設

(3)位置

加茂川排水機場(木曾川 66.6k)

(4)施設規模

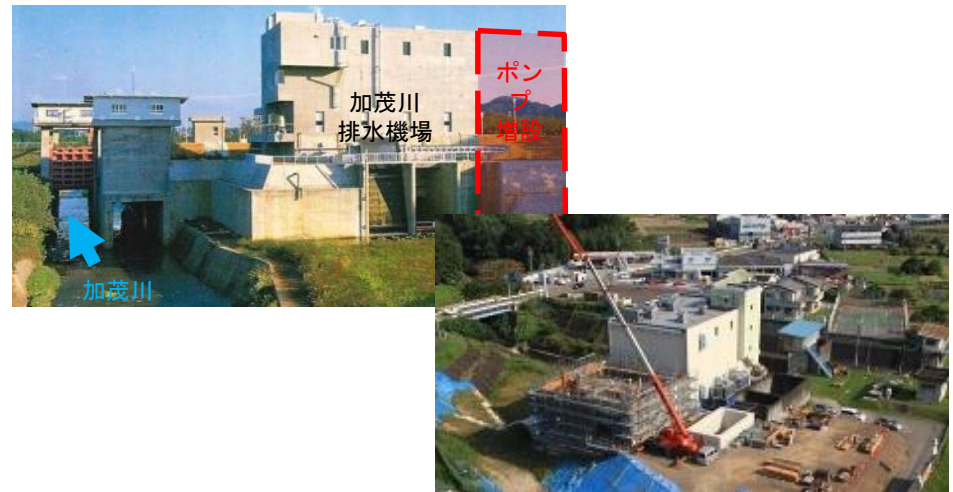
10m³/s増設(現況15m³/s→25m³/s)

(5)その他

(事業計画)

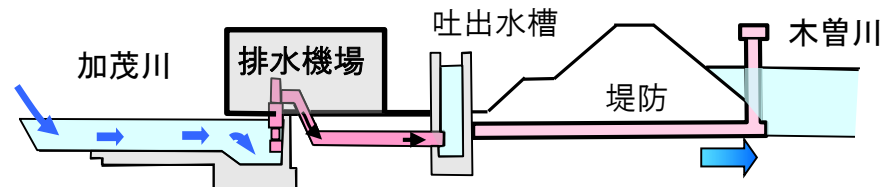
年次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)	前年度事業費
ポンプ増強	アクションプログラム	—————							(百万円)
	最新の実施工程			躯体工事				H25年度 躯体工事に着手 H26年度 躯体工事、ポンプ製作 H27年度 ポンプ製作、上屋工事等 H28年度 ポンプ設置等 (完了予定)	746.3

(実施箇所 実施イメージ図)



上屋工事(H27.7月)

≪排水機場の役割≫



加茂川の水位よりも木曾川本川水位が高い場合、加茂川からの自然排水ができなくなるため、排水機場で強制的に排水

- 対策の具体目標 : 木曾川本川の河川改修(樹木伐開等)
- 実施状況 : H24年度に一部伐採を実施
- 課題等 : 「名勝木曾川」の景観に配慮した伐開計画

加茂川総合内水対策計画

No.	施策名称	事業主体
3.6.3 4)	木曾川本川の河川改修(樹木伐採等)	国土交通省

(概要)

- (1)目的
木曾川本川の樹木伐開により木曾川本川水位を低下させる。
- (2)内容
木曾川本川における樹木伐開
- (3)位置
一色島～迫間川付近
- (4)施設規模
- (5)その他

(実施箇所 実施イメージ図)



(事業計画)

年次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)	前年度事業費
樹木抜開	アクションプログラム	---	---	---	---	---	---	・平成24年度 一部伐開を実施 ・平成28年度 以降実施予定	-
	最新の実施工程				---	---	---		

- 対策の具体目標 : 水位計1基(外水位と内水位を観測)、量水標1式、CCTV1基の適切な維持管理
- 実施状況 : 継続
- 課題等 : -

No.	施策名称	事業主体
3.6.1 9)	CCTVカメラ映像、 河川水位等の情報配信	国土交通省

(概要)

(1)目的

加茂川排水機場において、操作規則に沿った適切な操作に資するために設置されている水位計や量水標、また、平常時及び出水時の木曾川本川、加茂川の監視のため設置されているCCTVについて適切な維持管理を行う。

(2)内容

水位計1基(外水位と内水位を観測)、量水標1式、CCTV1基の管理

(3)位置

加茂川排水機場内

(4)施設規模

(5)その他

(実施箇所 実施イメージ図)

量水標(修繕前)



量水標(H23修繕後)視認性の向上





CCTV映像、外水位(木曾川)、内水位(加茂川)をリアルタイムで情報発信

年次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)	前年度事業費
	アクションプログラム							・実施中であり、今後も継続していく。	-
	最新の実施工程								

- 対策の具体目標 : 被災時の排水ポンプ車・照明車の派遣
- 実施状況 : 継続
- 課題等 : -

No.	施策名称	事業主体
3.6.1 13)	災害対策車 (排水ポンプ車等)の派遣	国土交通省

(概要)

(1)目的

加茂川からの流入量が排水機場のポンプ能力以上となった場合等において、排水ポンプ車の派遣(夜間の場合は照明車も派遣)により強制排水を行い、浸水被害の軽減を図る。

(2)内容

排水ポンプ車・照明車の派遣

(3)位置

加茂川流末

(4)施設規模

排水ポンプ車(0.5m³/s)

→ 小学校プールを約10分で空にすることが可能

(5)その他

(実施箇所 実施イメージ図)



排水ポンプ車(0.5m³/s)



H23. 9台風15号における排水ポンプ車、照明車の作業状況

(事業計画)

年次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)	前年度事業費
排水ポンプ車・照明車の派遣	アクションプログラム							・実施中であり、今後も継続していく。	-
	最新の実施工程								

- 対策の具体目標 : 被災時の緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の派遣
- 実施状況 : 実施中
- 課題等 : -

No.	施策名称	事業主体
3.6.1 14)	緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の派遣	国土交通省

(概要)

(1)目的

大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う被害状況。迅速な把握、被害の発生及び拡大防止、被災地の早期復旧、その他災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施する。

(2)内容

緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の派遣

(3)位置

(4)施設規模

(5)その他

(実施箇所 実施イメージ図)

照明点灯による
夜間救出作業

ポンプ設置状況

H24.7九州北部豪雨

排水作業(中部地整から派遣)

H23.3東日本大震災

H22.7豪雨
岐阜県八百津町

(事業計画)

年次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)	前年度事業費
排水ポンプ車・照明車の派遣	アクションプログラム	—————						・実施中であり、今後も継続していく。	-
	最新の実施工程	—————							

- 対策の具体目標 : 被災時の現地情報連絡員(リエゾン)の派遣
- 実施状況 : 継続
- 課題等 : -

No.	施策名称	事業主体
3.6.1 15)	現地情報連絡員(リエゾン)の派遣	国土交通省

(概要)

(1)目的

地方公共団体の所管施設等に著しい被害が発生又は発生が予想される場合に、該当する地方公共団体へ国土交通省の職員を派遣し、迅速かつ円滑な災害対策を支援する。

(2)内容

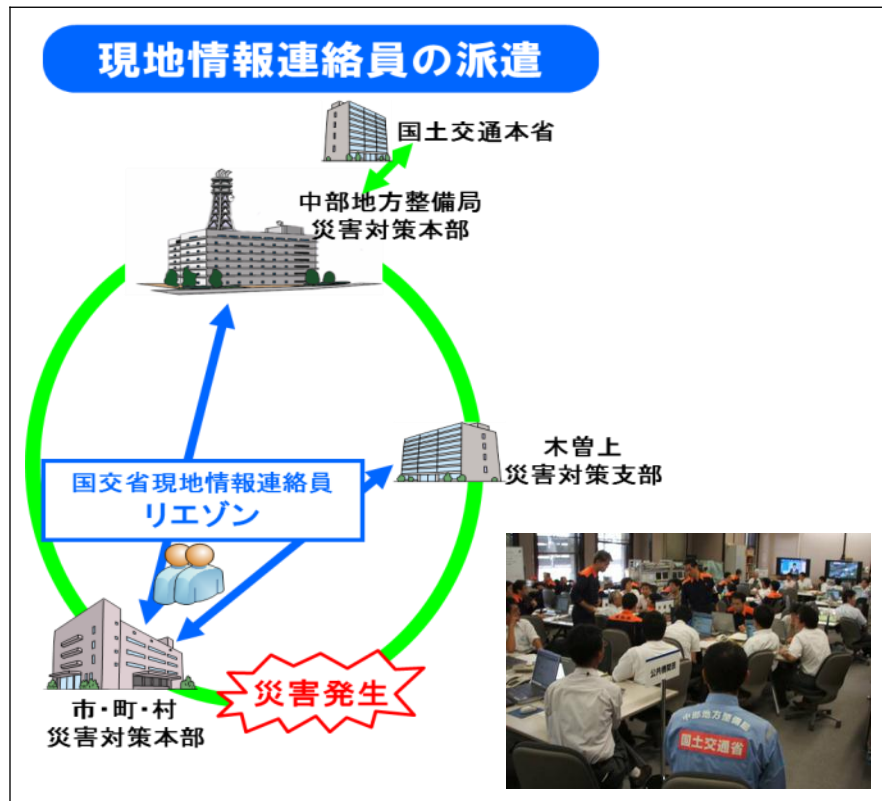
現地情報連絡員(リエゾン)の派遣

(3)位置

(4)施設規模

(5)その他

(実施箇所 実施イメージ図)



(事業計画)

年次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)	前年度事業費
リエゾンの派遣	アクションプログラム							・実施中であり、今後も継続していく。	-
	最新の実施工程								

- 対策の具体目標 : XバンドMPLレーダの導入
- 実施状況 : 整備済
- 課題等 : 効果的な周知、活用

No.	施策名称	事業主体
3.6.1 10)	XバンドMPLレーダの導入	国土交通省

(実施箇所 実施イメージ図)

(概要)

(1)目的

局地的な大雨や集中豪雨による被害が頻発していることを受け、高精度で観測を行うことにより、的確な監視、降雨予測に活用する。

(2)内容

XバンドMP(マルチパラメータ)レーダの導入

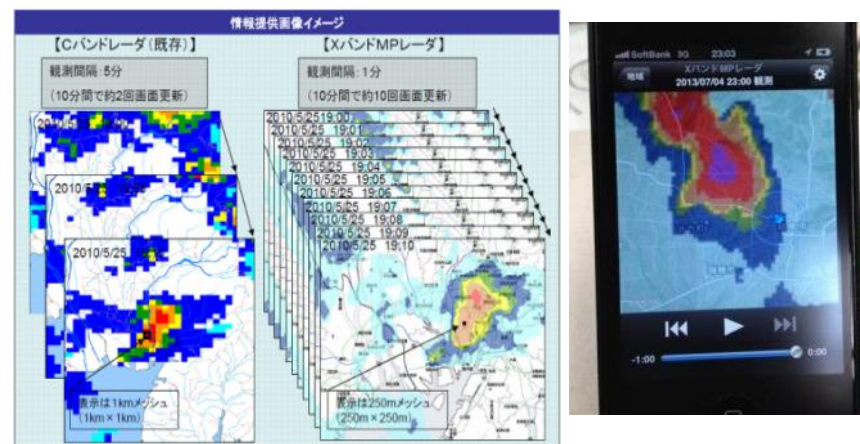
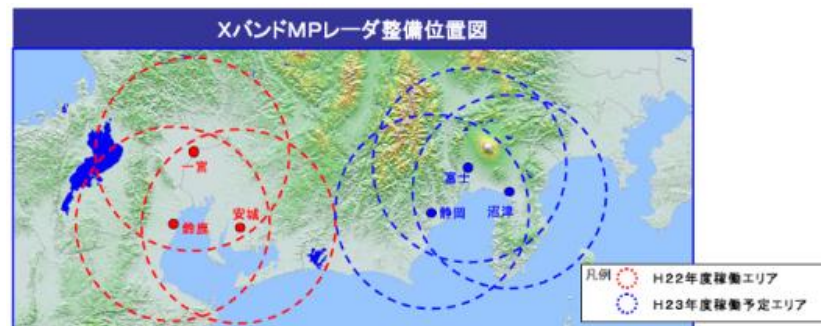
(3)位置

中部地方整備局管内で6箇所、名古屋地区では一宮、安城、鈴鹿の3箇所

(4)施設規模(既存施設との比較)

レーダ種類	Cバンドレーダ(既存)	XバンドMPLレーダ
観測間隔	5分	1分(目標値)
情報更新の時間	5~10分	1~2分(目標値)
提供するデータの分解能	1km	250m

(5)その他



(事業計画)

年次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)	前年度事業費
Xバンドレーダの導入	アクションプログラム							・実施中であり、今後も継続していく。	-
	最新の実施工程								

- 対策の具体目標 : シミュレーション検討成果を市町に提供
- 実施状況 : -
- 課題等 : ハザードマップ作成主体となる市町との調整

No.	施策名称	事業主体
3.6.1 4)	内水ハザードマップの作成支援	国土交通省

(概要)

(1)目的

内水のはん濫等の浸水情報及び避難に関する情報を流域住民にわかりやすく提供し、迅速な避難に活用してもらう。

(2)内容

美濃加茂市、坂祝町による内水ハザードマップ作成を支援するため、内水ハザードマップの基となる内水検討結果を提供する。

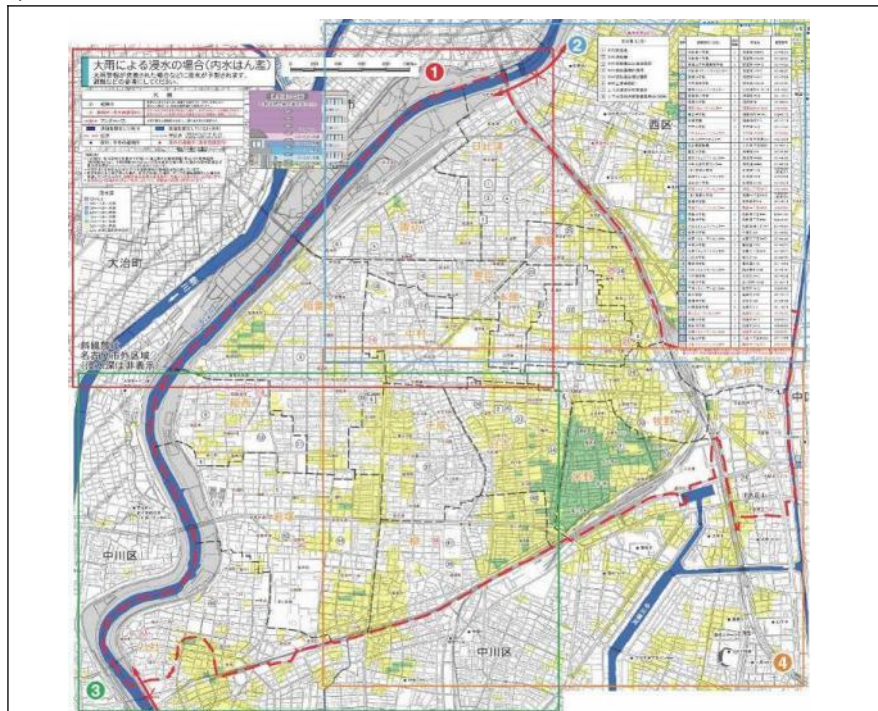
(3)位置

加茂川流域

(4)施設規模

(5)その他

(実施箇所 実施イメージ図)



内水ハザードマップ(名古屋市の例)

(事業計画)

年次		H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	備考(コメント)	前年度事業費
内水検討 結果の提供	アクションプログラム	—————						・ハザードマップ作成主体となる市町と調整し、必要な資料を提供する。	-
	最新の実施工程			—————					